

## 7 第1次ビジョン素案(案)に対するパブリックコメントの結果

令和2年末から令和3年1月10日にかけて実施したビジョン素案に関するパブリックコメントに対し、地域の皆さんから54通161項目の貴重なご意見・ご提言が寄せられました。

これに関する岩野田北まちづくり協議会の考え方は、以下のとおりです。今後の運営、計画の参考に役立てます。

### 1 ビジョン全体について

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
(1)基本方針と達成目標は、意図して表記を変えているのか。	ご指摘のとおりです。いずれも密接不可分の関係にありますが、できるだけ分かりやすくなるよう、「まちづくりの進め方に関する方針」と「まちづくりそのものの目標」に整理したものです
(2)達成目標が、ビジョンではないのか。	市のビジョン策定の基準には、①「地域の現状」、②「地域の課題」、③「地域住民主体で取り組む活動内容」、④「活動分野ごとの具体的な取り組み」、⑤「地域が目指す将来の姿」を盛り込むものと規定されています。本ビジョンでは、①②を「地区の現況・主な課題」に、③④を「基本方針・達成目標・次世代のための都市環境づくり」に、⑤を「みんなで織りなすまち」にと、盛り込むとともに、子どもたちの提案をはじめとする資料などを掲載し、これら全体をビジョンとしてまとめました。なお、パンフレットは本編ビジョンの要約版として作成しました(本編は、ホームページ、公民館で閲覧できます)。
(3)数値目標を掲げるべき。	まちづくり活動の効果を検証するのに、住民アンケートによる「以前と比較して改善しましたか」という設問も一つの方法ですが、数値目標を掲げ検証する方法も考えられます。例えば、現状のポイ捨てのごみの量を把握して、対応策を実施し、目標年次にどのように改善したかを数量として評価することとなります。具体的な解決策を講ずるに当たり、数値目標を掲げる際には、現状把握が必要となります。例えば、ポイ捨てごみの量、交通量調査を行うなど。このような場合には、地域の皆さんのご参加、ご協力をお願いいたします。

<p>(4)ビジョンは具体性がない。  (5)実行できることに関してこれから具体策を立案してPRを。</p>	<p>新規の具体的な取り組みも掲げていますが、まず「まちづくりの基本とすべき方針」と「達成目標」を柱として、これを住民・自治会・各種団体等が共有することを重視しました。今後、本ビジョンに沿って、まちづくり協議会(部会活動を含む)及び自治会・各種団体等との連携のもとに、今回寄せられましたご提案も参考に、具体的な計画立案・広報し、地域の皆さんの参加のもとに取り組んでいくものです。</p>
<p>(6)もう少し世の中の動きや社会背景の変化にセンシティブになりませんか。この素案は20年前のものです。</p>	<p>せっかくのご指摘も、具体的な形でビジョンに盛り込めないのが残念です。今後、協議会やサロンに参加いただくなど、地域へのご提案等を、ぜひ具体的にお寄せください。多様な糸でまちを紡いでいきましょう。</p>
<p>(7)素晴らしい素案です。実行できたら良いですね。もう少し項目を少なくし、分りやすくしてください。  (8)基本方針は立派に作成されている。  (9)基本方針に賛同。  (10)各種団体等と公民館等への連携はよくできている。  (11)会の活動の経緯、ビジョン等、とても分かりやすく感銘を受けました。  (12)ビジョンは素晴らしい。周知・PRが必要。</p>	<p>本編をできるだけ簡潔に要約したパンフレットを今回配布させていただきました。具体的な活動について今後、立案・広報しながら、あわせてビジョンの共有・浸透が図られるよう努めてまいります。ビジョンが絵に描いた餅とならないよう、地域の皆さんとともに取り組んでまいりたいと存じます。</p>
<p>(13)夢をいっぱい掲げて、素案作りに満足することなく、2～3の事案に絞り、特化事業として推進すべき。  (14)まちづくりの芽の発掘、みんながいきいきと参加できる企画の創生に、もっともって重点をかけるべきである。</p>	<p>各取り組みは、互いに密接に関連する事案が少なくありません。自治会・各種団体等の連携を図り、効果的・効率的なまちづくりを推進するとともに、ご指摘のように、重点化を図りつつ、計画的に順次着手し、皆さんの参加の輪を広げていきたいと考えます。</p>
<p>(15)アンケート結果や本ビジョン素案は、自治会未加入者に配布されていない。  (16)読まない人も含めて、機会が均等に与えられることに意味がある。</p>	<p>配布・周知については、自治会を通じて配布したほか、公民館及びホームページに掲載したところですが、策定後は、ホームページに掲載するほか、広く地域への周知徹底に努めてまいります。</p>

## 2 まちづくりの主体

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
<p>(1)住民が直接参加し意見を出し、反映されることを分かりやすく示してください。</p> <p>(2)高校生からも提案をもらうと良い。</p> <p>(3)転入者や若い世代の意見をまちづくりに反映させることが肝要。</p> <p>(4)小・中学生のいる 30 代、40 代の親たちにご意見・ご提言を聞いてみる方が良いと思います。</p>	<p>世代を問わず、地域の皆さんからまちづくりに関するご意見・ご提案を継続的に寄せいただくことが必要です。現在は、協議会やまちづくりサロンへの参加、公民館内のまちづくり協議会宛ての投函箱をご利用いただきご意見をお寄せいただいています。</p> <p>また、提起された課題や提案については、今後は「まちづくりの芽ファイル」を作成するなど、課題解決に向けて継承してまいりたいと考えます。</p> <p>なお、自治会では毎年、「地域改善要望」を自治会回覧で聴取し、これを取りまとめて市に提出・要望しています。</p> <p>なお、「まちづくり提案・意見の継続的な把握」について、本ビジョンの基本方針のD②に追記します。</p>
<p>(5)「住民」、「みんな」など、主体となるものの表記が使い分けられているのか。</p>	<p>文章の流れに応じ使い分けたものをご理解ください。</p> <p>まちづくりには、居住者のみならず、栗野に位置する事業所、公共施設設置者、通勤通学者、不動産所有者等も含む、全ての皆さんが、岩野田北のまちづくりの関係者に当たると考えられます。</p>
<p>(6)達成目標①「安心・安全・絆のまち」の②「住民・自治会・各種団体など地域ぐるみで」を「地域に住んでいるみんな(住民・自治会・各種団体など)」とする。</p>	<p>「住民・自治会・各種団体・事業所など地域ぐるみで」に修正します。</p>
<p>(7)全ての住民に、どの組織が、誰が、何を決定できるのか、を分かりやすく示してください。</p>	<p>推進体制は、概要図を示したところですが、本編に、まちづくり協議会の役割や住民の参加方法について、注釈を追記します。</p> <p>もとより、住民のまちづくりへの参加に関しては、「年齢、性別、障害の有無、居住年数などに関わらず、対等かつ主体的にまちづくりに参画することができる環境・意識の醸成」が大切です。</p> <p>このことについての認識を広く共有するため、基本方針 C に追記します。</p>

<p>(8)ビジョンに「地域に強く残る女性の役割の見直し」について、全く触れられていません。国の方針として女性活躍がうたわれている今、少なくとも地域における「女性の会」や「女性防火クラブ」の存在を、根本から見直すべきではないかと思われます。ビジョンにはジェンダーの視点が皆無です。地域内に詳しい方はおられるはずで。岐阜市の男女共同参画プランに目を通されたことがおありでしょうか。この時代錯誤のまちづくりビジョンは本当に残念でなりません。少なくとも女性の会や女性防火クラブのように、女性の役割を全ての活動に求めている団体は、即廃止すべきだと思います。それに何の疑問も持たれないまちづくり協議会に、まず疑問を持ちます。</p> <p>(9)婦人会の名残の女性の会、女性防火クラブの存在に疑問を持たないまちづくり協議会の旧弊さに気持ちが萎えます。</p> <p>(10)自治会組織の見直し、「長は男性」、「女と子どもはセット」、「女は補助的役割(お茶出し、炊き出し)」の根強さを是正しないと地域は滅びる。</p> <p>(11)女性の声を育んでほしい。</p>	<p>岐阜市役所最初の男女共同参画の担当部署は、昭和 59 年 4 月、市民部の婦人対策係 2 人でスタートしました。翌年、様々な団体や有志によって第 1 回女性フェスティバルが文化センターで開催され、同日採択されたメッセージを携え、「国連婦人の 10 年」ナイロビ世界会議に向けて、会場に集まった多くの市民に見送られ代表団が出発しました。世界会議では、「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略」が採択されます。以来、国においては男女共同社会基本法(平成 11 年)が、また市では男女共同参画推進条例(平成 14 年)が制定されました。一方、市内の女性の自治会連合会長は、これまでに一人のみということからも、地域における女性の役割が未だに軽視されている面は否めないかと存じます。まちづくり協議会(以下、「協議会」)あるいは現在月に 1 回、意見や提案を気軽に話し合うことのできる定例のまちづくりサロンにご参加いただき、現在抱える地域の課題等について意見を交わし、かつ具体的なご提案・ご意見をお寄せいただければと存じます。まちづくりサロンは、参加しやすい日時のご要望に応じて開催してまいりたいと存じます。</p> <p>女性の会、女性防火クラブの沿革、活動については、本編及びホームページに掲載していますが、それぞれの目的のもとに活動が展開されています。なお、岩野田北女性の会は現在、活動が休止されていることから、協議会の活動団体一覧から削除します。</p>
<p>(12)岐阜市北消防団岩野田分団では、地域の皆様の生命・財産を守り、まちづくりの一翼を担うため努力しています。地域のために働く消防団員を、男女を問わず募集しています。ご一報ください。</p>	<p>すでに消防団に女性隊員がいる地区もあります。これにかぎらず、性別による固定した役割意識が払しょくされることを期待します。</p>
<p>(13)親が墓参りすれば、子どもも習う。お寺にお願いして甘茶を春夏の 2 回提供してもらおうと良い。</p>	<p>檀家のお寺に企画いただくと、地域の名物になりそうですね。歴史文化を象徴する寺社は地域の資源でもあり同時に、地域の一員です。防災や地域活性化など、まちづくりでお互いが協力し合える分野がないか、研究してまいります。</p>

<p>(14)これだけの取り組みを推進するためには、部会やサロンへのもっと多くの住民参加が必要。</p>	<p>ご指摘のとおりです。3年前に部会を設置し、役割を分担して活動を推進していますが、さらに協議会の運営、まちづくりの活動に直接関わっていただける方が必要です。多くの方々の参加・ご協力をよろしくお願いいたします。</p>
<p>(15)栗野東自治会長会議が、毎月開催されていますが、まちづくりビジョンについて一度も議題に上がったことはありません。</p>	<p>自治会組織は、言うまでもなく歴史的にも会員数においても、まちづくりの基盤的組織と考えられます。本ビジョンを周知いただき、まちづくりの輪を広げていっていただきたいと存じます。</p>

### 3 まちづくりの担い手育成

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
<p>(1)人材育成の観点から、「高校生や大学生との関係づくり」が5年後のまちの姿の実現につながるのではないかな。 (2)継続的に若いリーダーを育成する目標が必要ではないかな。</p>	<p>まちづくりの担い手を育成することは、地域の重要課題の一つです。D②に「まちづくりの担い手の育成・参加促進」を追記します。</p>

### 4 高齢者の参画

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
<p>(1)子育て世帯の家事支援について、ファミリーサポートセンターやシルバー人材センターに依頼しても、近隣の登録会員がないと使えなかった。 (2)高齢者への声掛け、家事支援サービスを、シニアのボランティアで支えられると良い。</p>	<p>シルバー人材センターでは、家事支援サービスを行っています。60歳以上の方であれば、会員になって有償ボランティアの担い手として参加できます。一方、地域は家事支援サービス申込予約を受け付ける事務を省力化できます。このように、公益目的の法人会員による有償ボランティアは、地域のまちづくりを補完するとともに、高齢者の社会参加に役立っています。一方、これら法人においても、担い手となる会員が不足する状況に悩まされています。地域との役割分担の下に、どのような連携が可能か、経験豊かな高齢者の参加促進について地域としても検討したいと考えます。あわせて、皆様のご意見・ご提案をお寄せいただきたいと思います。</p>
<p>(3)昔のように子ども会がない。地域ごとの幼児・児童・学生等のチー</p>	<p>地区全体として岩野田北子ども会育成会が活動しています。少子化を背</p>

<p>ムワークの出来る会ができないのか。そこへ高齢者の手助けがあれば、生きがいを持てるのではないか。</p>	<p>景に、地域単位の子ども会活動が大きく環境変化したことは否定できません。一方、活動をサポートし、その負担を減らす上で、経験豊富な高齢者の参加は心強いものがあります。地域ぐるみで子どもたちを見守り、育てることを目指して、自治会や各種団体等の連携を図るとともに、活動を支援していただける方は、是非、活動への参加を申し出ていただきたいと存じます。</p>
--	--

## 5 住民参加について

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
(1)地域でできることは地域で…願いや主張は立派だが、もっと知恵を出して、住民一人ひとりが進んで参加できる内容・方法を考えていこう。	ご指摘のとおり、みんなで考えていきましょう。ぜひ、アイデアをお寄せください。本ビジョンの「あいさつ運動」、「ながら運動」なども、一人ひとりが参加しやすい活動方法の一つとして計画していきたいと考えます。
(2)転入者が地域に愛着を持てるか、地域貢献できるかが課題。	特に集合住宅の場合は、定住化されない世代も少なくありません。自治会・各種団体等と連携し、また小中学校のご協力もいただきながら、まちづくりに関心を持っていただくとともに、地域の歴史文化にも触れていただけるような情報の発信が必要と考えます。
(3)男性のあいさつが少ない。	あいさつの大切さを、みんなで地域に広げていきましょう。
(4)ふん害について、飼い主の一層の責任の義務化を求めます。	大人も子どもも、一人ひとりが散歩時のマナーを守ることが大切です。皆さんとともに美化キャンペーンを展開するなど、マナー向上を図ります。
(5)地域のモラル低下がひどい。小学校の資源ステーションに回収できないものも捨てられている。防犯カメラを設置し、警察と連携してほしい。	ご指摘の点も含め、快適な生活環境づくりには、地域のモラル・マナー向上が欠かせません。あいさつ運動や美化キャンペーンなどを通じて、「品格あるまち」をみんなで築いてまいりたいと考えます。なお、資源ステーションの廃棄物には、排出者の責任において持ち帰るよう指示する書面を貼付しています。
(6)空き地の草木を、火災予防のため、地主は気を付けていただきたい。 (7)空家、空き地を市と協力して対策を講じる。	市の条例(あさちの環境保全に関する条例)で、管理不良の場合は指導の対象となります。年2回以上の刈り取り、処分を推奨しています。 空き地・空き家に関し、まずは不動産所有者としての責務が問われます。
(8)清掃・ごみ拾いは地域一人ひとりの意識が必要です。清掃活動	ありがとうございます。「ながら運動」として、毎日のウォーキングしながらのゴ

は良い取り組みだと思います。今年も参加します。	ミ拾いなど、気軽に参加できるまちづくりの輪も広げていきたいと考えます。
(9)まちづくり協議会の組織力を生かしたインパクトのあるPRが必要。	ご指摘のとおり、自治会・各種団体等が連携して、まちづくりへの参加を広く呼びかけてまいります。
(10)あいさつ、家の周りの清掃、ゴミ拾いを兼ねたウォーキングなどの一人ひとりが日常的に参加できる取り組みを広げることは、最初に着手すべき事業。	
(11)災害ボランティアに参加する若者たちに多くのことを学びます。岩野田北からも、そうした被災地を訪れる若者がいます。そうした経験が地域に関わろうとする意識を育てる。広報紙に、災害支援を行う個人・団体等の報告を掲載し、物資や支援金の募集を行うと良い。	ご指摘のとおり、ボランティア意識の醸成は重要です。現に多くのボランティア活動によって、現在の岩野田北地区のまちづくりが支えられていることを忘れてはなりません。活動分野は、多種多様です。機会を捉え、またホームページ上でも関係機関にリンクを張るなど、周知を図りたいと考えます。関連の情報もぜひお寄せください。

## 6 各分野のまちづくりの芽

### 【防災】

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
<p>(1)大規模災害に備え、一人暮らしの高齢者等の安全確保のため、個人情報に留意し、避難が独力のできるかなどをデータとして更新すること。</p> <p>(2)学校行事と防災訓練の同時開催、高齢者世帯への避難経路の確認、防災情報の共有、防災関連備品の管理・点検・補充など。</p> <p>(3)水害、台風にも備え、高い場所に最低 3 カ所の防災倉庫を早急に建てておくこと</p> <p>(4)災害に強い地域をつくるには、日頃の地道な地域づくりにかかっていると思う。</p>	<p>阪神・淡路大震災では、被災がれきの下から市民によって救出された人が約 2 万 7,000 人で、警察・消防・自衛隊によって救出された人(約 8,000 人)の 3 倍以上であったと言います。大規模災害時には互助・共助、すなわち地域コミュニティの担うべき役割が重要であることが証明されました。</p> <p>市から提供された要支援者のデータの活用とともに、平常時からの隣近所での備えが大切です。一方、各家庭における防災グッズや食料備蓄など、自助も必要です。</p> <p>地域の防災倉庫は、現在 4 カ所に設け、このほか小学校の高層階にも一部備蓄しています。</p> <p>自主防災組織を中心に、ご提案も参考に防災体制の強化を図るとともに、地域ぐるみで防災力を高めることが重要です。</p>

<p>(5)秋の防災訓練をより意義のあるものにしてください。コンパクトに、参加率をアップする方法を考えてみてはどうか。</p> <p>(6)防災訓練を開催していただきたい。公民館講座で、消火器の使い方、AED講習を開催されるよう提案します。毎年開催を。</p>	<p>自主防災組織では、通常、毎年、防災訓練を実施することとしています。ご提案も参考に、効果的な訓練の計画に役立ててまいります。</p> <p>公民館講座でも、防災・防犯の講座の開催実績があります。まちづくり関連の講座など、公民館とも連携して企画してまいりたいと考えます。</p>
--	--

## 【防犯】

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
<p>(1)危険個所への防犯灯、防犯カメラの設置、子どもの登下校の安全確保等、夜間暗い場所が多すぎる。</p> <p>(2)白山神社の前のおりが暗く、部活帰りの自転車の中・高生が心配。</p> <p>(3)大通りから少し中に入ると、街灯が少ない個所が多い。中学校も近く、通学路としても安心とは言えません。</p> <p>(4)住宅、商店のない個所に街灯を設置。</p> <p>(5)栗野西の堤防沿いは、夜間暗闇となるため、街路灯の増設を望みます。</p> <p>(6)私道が多く、防犯の意味で街灯が必要。従来の照明塔基準でなくても、地域に即した明るさをもとにすれば良い。</p>	<p>農地が減少し、住宅が増加する中、防犯灯の設置が必要な場所について、自治会を中心に各種団体と連携し、対策を講じるが必要と考えます。平成 21 年度に地域と市の協働で作成された「岩野田北地域くらし安全マップ」には、防犯灯設置については調査がなされていないため、同様にマップ作りも有効と考えます。</p> <p>また、防犯カメラに関しては、交通安全対策も兼ねた検討課題とします。</p> <p>なお、防犯灯の設置等、地域の抱える課題については、自治会の事業活動として毎年「地域改善要望」を取りまとめ、市等に要望しており、必要性・緊急性の高いものなど順次、実施がなされているところです。一方、懸案課題については、引き続き検討に付してまいりたいと考えます。</p>
<p>(7)青パトはどれほどの効果があるのか、経費の無駄。</p> <p>(8)青パトは日 1 回、夜に巡回を。</p>	<p>統計によると市内の刑法犯認知件数が、青パト安全活動が開始した後、激減しました。一定の効果があると考えますが、パトロールの回数を増やすためには、参加いただける方の確保が課題となっています。ぜひ多くの皆さんの参加をお願いします。</p>

【交通安全・通過交通対策】

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
<p>(1)平成 20 年代前半に、自治会連合会として市に意見・申請したことがあります。畜産センターから山県市佐賀に抜けるバイパスを整備することが重要です。</p> <p>(2)山県市にインターチェンジができ、山県市と共同で道路整備を進めるべきです。</p> <p>(3)東海自動車道の開通による更なる交通量が増える。</p>	<p>ご指摘のとおり、バイパス整備は通過交通の抜本的な解決策と考えます。平成 30 年にも、市長と自治会役員の話し合いの場で、写真と地図を資料提出し、現況を説明し、道路整備を要望したところです。引き続き、本ビジョンに提起し、市に提出し、課題を共有します(本編「まちづくりの芽 1」参照)。</p>
<p>(4)生活道路の交通量が多く、危険を感じる。ぜひとも対策に取り組んでいただきたい。</p> <p>(5)宅地化が進み、能動が危険な歩道、通学路となっている。</p> <p>(6)中学校近辺の交通増で、中学から鳥羽川までの歩道が狭く、事故の可能性あり。横断歩道の設置、信号機、歩道の拡張を検討。</p> <p>(7)看板などで告知する等対策をお願いします。</p> <p>(8)交通安全対策の具体化を目に見える形で実施する。</p> <p>(9)国道の通過車両に対する安全規制を、行政・警察等と連携して推進する。</p> <p>(10)北小学校の西側道路は、いまだに長時間駐車が多く見通しが悪い。早急に対応されたい。</p> <p>(11)騒音を深夜にたてる輩も何とかしてほしいです。</p>	<p>交通安全対策は、防災と共に住民の生命に関わる大きな課題です。</p> <p>8 (1)の長期的な抜本的対策と合わせて、短期的な取り組みを進める必要があります。</p> <p>通過交通の問題と交通安全施設の整備を提起する一方、違法駐車をなくし、交通ルール・マナーを順守するなど、地域でできることは地域ぐるみで取り組みましょう。</p>
<p>(12)車からのタバコのポイ捨てが多い。街全体に看板を設置し、きれいなまちづくりを目指す。</p>	<p>通過交通に対する抜本的対策を目指す一方、美化キャンペーンを展開し、積極的に発信していきましょう。</p>

【安全全般】

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
<p>(1)子どもや高齢者の命を守る施策を早急を実施する。</p> <p>(2)達成目標の高齢者への対応が形式的で、声掛け・見守り等は十分ではない。</p>	<p>子どもや高齢者など、人の命を守るための自主・自立の活動は、地域のまちづくりの基本的なテーマの一つです。防災・交通安全・防犯並びに高齢者等の社会的孤立を防ぐなど、個々の取り組みに加え、4(1)～(3)にも示した日常の</p>

隣近所での見守りが大切です。ともすると希薄化するコミュニティ社会の中で、絆を深められるよう、「あいさつ運動」をはじめとするきっかけづくりを推進したいと考えます。主役は地域の皆さんです。

達成目標①の②の「防犯」の後に「をはじめ人の命を守る」を挿入します。

## 【公園整備】

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
<p>(1)一刻も早く、子どもの遊び場が欲しい。</p> <p>(2)公園を増やしてほしい。</p> <p>(3)公園は子どもから高齢者まで、楽しく会話できる環境をつくることのできたらと思います。</p> <p>(4)公園が少なく、古い遊具しかないため、魅力がない。新しく広い土地を確保し、住民が集える場所をつくれると良い。</p> <p>(5)人口増、高齢者も増え、みんなが気軽に利用できる憩いの公園が近くに欲しい。</p> <p>(6)自然豊かと言っても、散歩は危険、休憩するベンチも公園もない。三世代交流を生むためにも必要。</p> <p>(7)住宅戸数は増えても公園がない。宅地造成と公園をセットにする規制はできないか。</p>	<p>公園整備を求める声が、子どもたちからも多く寄せられました。通過交通の危険を抱える地域として、大きなテーマの一つと考えます。一方、行政における財政負担も伴うため、中長期的な取り組みにならざるを得ません。</p> <p>ビジョンでは、都市居住の環境向上を図るため、鳥羽川の環境整備として、多機能に使える空間の創出等を提案しました。</p> <p>なお、まとまった土地の無償貸与等の申し出が地権者からあれば、市に整備の要望を行うこととなります。</p> <p>市の基準による開発面積に応じた公園整備については、市に確認中。</p>
<p>(8)公園などが少ないとの意見が寄せられているが、栗野には一等三角点がある如来ヶ岳があり、十六のグランドがあるので、これらを活用、広報されたい。</p> <p>(9)如来ヶ岳の山頂整備をし、人が訪れるようまちづくりに活用する。</p> <p>(10)畜産センターに行く道も歩道がなくて危険。整備されたい。子どもが安全に外出できる環境整備を望む。</p>	<p>地域には多くの歴史文化が息づいています。一等三角点の山を選んで登頂する愛好家も少なくありません。如来ヶ岳など地域の名所旧跡をホームページでも紹介・発信していますが、さらに充実するため、皆さんからの投稿メールをお待ちしています。</p> <p>なお、「山林等の自然活用」を、今後の課題として掲げています。</p> <p>一方、名所旧跡や野仏等の路傍文化を巡ったり、畜産センター公園を利用するにあたっては、歩行者の安全を確保する道路整備が大きな課題と考えます。交通安全対策に地域ぐるみで取り組んでまいりたいと考えます。</p>

## 【鳥羽川の環境整備】

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
<p>(1)鳥羽川の環境整備の推進。環境を大切にするとともに、ゲリラ豪雨にも対応。</p> <p>(2)波消しブロック、歩道をつくる。</p> <p>(3)生物の保全なども関係するかと思いますが、堆積した泥の掘削除去をされたい。</p> <p>(4)鳥羽川の河川敷の樹木が治水に弊害。撤去されたい。</p> <p>(5)鳥羽川の寺内の転倒堰のところの川幅が急に狭くなっている。増水時の決壊の恐れがないか。</p> <p>(6)地域の自然というと鳥羽川というが、楽しく散策できる工夫が欠けている。</p> <p>(7)堤防道路に公園、ウォーキングコースを整備すれば、地域の魅力が高まる。</p> <p>(8)子どもも親も安心できる「水辺の楽校」をつくる。</p> <p>(9)月野橋と寺内橋の間に橋を架けることで、バイパス交差点の事故の減少、東西の地域の連絡が良くなる。</p>	<p>ご指摘のとおり、治水・防災を基本に、生物の保全にも配慮しつつ、都市型居住の環境を向上させる上で、鳥羽川の空間整備・活用は、まちづくりの大きなテーマの一つと考えます。</p> <p>一方、復活しつつあるホテルなどの自然環境への配慮も必要と考えます。</p> <p>防災、自然環境、空間活用・都市居住、交通の観点から、鳥羽川の環境整備について、自治会や自主防災組織及び関係機関と連携を密にし、推進する必要があると考えます。</p>
<p>(10)清掃は上流の山県市が取り組むべき。</p> <p>(11)上流、下流の汚れがひどい。連携して環境向上が必要。</p> <p>(12)河川の清掃、河川にごみを捨てない、市と協働で行う。</p>	<p>以前と比して、改善した面も見受けられますが、引き続き、環境保全に流域全体で取り組む必要があると考えます。岩野田、山県市とは、鳥羽川の美化以外のまちづくりにおいても、連携を密にすることが大切と考えます。</p> <p>もとより、市とのまちづくりの協働は欠かせません。</p>

## 【交通機関】

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
<p>(1)岐阜バスの運賃 250 円均一を強く求めたい。</p>	<p>バス運賃の均一料金化は、中心市街地の活性化や高齢者の社会参加に意義があるものと考えます。バス運賃に関しては今後の検討課題に掲げていますが、当該意義についても追記します。</p>

<p>(2)バス路線について、1 時間に 1 本でも良いので 5 丁目を朝 1 本なくし、バイパスを運行し、高富市役所発の路線変更で下岩崎での乗り換えをなくすため、高富→北小学校→農協前→下岩崎→長良公園前→福光→メモリアルセンター→金華橋→柳ヶ瀬→岐阜駅 の路線を設ける。(栗野西 1 丁目在住)</p> <p>(3)バイパスに路線バスを通す。</p> <p>(4)国道 256 号のバイパスをバスが走れば、移動しやすい。</p> <p>(5)バイパスに、中心市街地と結ぶバスが運行するよう根気よく働きかけてほしい。</p> <p>(6)栗野台に移り住んで、一番近いバス停まで 20 分。バイパスにバス停ができるのを心待ちしています。</p> <p>(7)栗野西は広域かつ人口増も考慮し、近隣自治会の賛同も得て、国道 256 号線に路線バスを運行する。</p> <p>(8)岐阜駅までの交通の便の悪さには皆さんお困りではないでしょうか。コミュニティバスだけでは補いきれない時間帯もあると思います。</p> <p>(9)コミバスは、路線バスとの時間が合わない。病院・スーパー・ドラッグストア等で利用しても、帰り時間が合わない。</p> <p>(10)働く人の利用が難しい。夕方に増便してはどうか。</p> <p>(11)コミュニティバスの利便性を広げてほしい。</p> <p>(12)栗野西は岐阜バスの高富線を利用しづらい状況のため、コミュニティバスも含め、公共交通機関を利用しやすくしてほしい。</p> <p>(13)コミュニティバスの回数券を年に 1 冊配布し、利用者増を図る。</p>	<p>バイパスのバス路線利用については、コミバス運行に際しても強く要望しましたが、停留所の設置許可が下りないため、残念ながら現状ではバスを運行させることができません。</p> <p>バス利用者の減少が、収支悪化につながり、路線維持に大きく影響しており、幹線バスやコミュニティバスなどの効率的・効果的なバスネットワークの構築が求められています。</p> <p>地域が主体となって運営するコミュニティバスは、市の支援のもとに試行運行を開始して 1 年半となります。下岩崎などバス停留所にも接続しています。今後もさらに利用しやすいコミュニティバスになるよう、岩野田地区とともに設立した運営委員会で検討を重ねていきます。</p> <p>一方、利用者の運賃、広告料でコミュニティバスの運行経費にかかる地域の負担分を賄っており、皆様のご利用、ご協力のもとで、持続可能な運行が可能となります。ぜひ、口コミで多くの方の利用を呼びかけてください。</p> <p>いずれにしても、コミュニティバス等の移動手段の運営を通じ、公共交通の在り方について、地域の課題を整理・検討してまいりたいと考えます。</p>
---	--

【イベント・行事】

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
<p>(1)歴史探訪するウォーキングの回数を増やす。コミバスの利用も計画に入れる。シニアのボランティアも募ってはどうか。</p> <p>(2)ウォーキングは、健康増進。季節ごとの開催を提案します。</p>	<p>三世代交流の機会として、健康増進、地域の歴史文化を訪ねるなど多目的性のあるウォーキングイベントについて、今後とも充実させ実施したいと考えます。一方、企画運営メンバーをシニアに限らず募集しています。ぜひ、皆さ</p>

	んのご参画・ご協力をお待ちしています。
(3)年に 2 回ほど、フリーマーケットのような誰もが参加できる企画も良いと思います。	皆さんに喜ばれ、楽しんでいただける企画をみんなで練る一方、行事の多目的化を図ることが、役員やスタッフの負担を考えると効率的だと考えます。自治会・各種団体等と連携し、既存の行事とドッキングするなど、企画検討していきたいと考えます。
(4)夏まつりは、衛生面から飲食をやめましょう。	子どもたちから、飲食に関する要望が数多く寄せられています。一方、暑い時期でもあり、保健所の指導なども踏まえ、十分に配慮し、計画に当たってまいります。なお、今年度はコロナの影響により、夏まつり自体を中止したところで。
(5)神明神社のみこしを核に、祭りを開催する。	まちづくり全般に通じることですが、みこしについても担ぎ手が求められます。岩野田ではみこしまつりを開催されていますが、岩野田北にも若い方を中心に、チームができると良いですね。なお、令和 2 年の夏まつりには、運動場に展示し、人気を博しました。
(6)月に一度、コンサートなどの定期的な交流機会を設ける。	自治会・各種団体・公民館等との連携のもとに、三世代交流の機会創出について、今後とも検討していきたいと考えます。とりわけ新規事業として開催する場合は、運営スタッフを募集することとなります。皆さんのご参画・ご協力をお願いします。
(7)新たに引っ越してきた方も多いの、コロナの影響で交流も希薄化している。何かできることはないでしょうか。	県・市の関連情報に注視し、3 密を避けるなど防止対策に留意しつつ、交流機会の確保について計画していきたいと考えます。また、高齢者の方が社会的孤立に陥らない観点からも、交流機会確保は必要と考えます。

## 7 情報提供

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
(1)耕作放棄地や空き家のデータについて、見える化を図ってはどうか。	市等からデータの入手できるものについては、随時、ホームページに掲載・更新していきます。
(2)情報発信に、公式 LINE やインスタグラムを使い、若い世代にも情	情報手段及び普及は格段に進んでいます。これを活用して、若い世代のま

<p>報が行き届くよう、PUSH 型発信も視野に入れてほしい。</p>	<p>ちづくりへの参画を推進するためにも、効果的な情報発信に利用することが求められています。開設 1 年が経過しようとするホームページの制作・運営も、若い世代の方の参加を期待しています。また、情報発信に限らず、若い世代のまちづくりへの参画は直面するテーマです。まちづくりサロンでもテーマとし、参加を募りたいと考えます。当事者である若い世代の皆さんに参加いただき、ご意見をお寄せいただければと存じます。</p> <p>一方、世代間で情報格差もまた見られます。広報紙の発行は引き続き実施します。</p> <p>なお、住民同士の口コミ、コミュニケーションが、広報には最も効果的と考えられます。「コミバスの利用方法」、「公民館でこんな講座があるよ」など、地域の話題としてぜひ取り上げてください。</p>
-------------------------------------	---

## 8 広域的な取り組み

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
<p>(1)「岩野田との交流」とは何ですか。 は</p>	<p>中学校区としての連携はもとより、消防団、水防団は、岩野田地区との共同で活動を展開するなど、具体的に連携している分野も少なくありません。また、コミバスの運行は、岩野田地区との連携によって実現しました。鳥羽川流域として、環境活動も連携することが必要と考えられます。岩野田村の歴史文化に興味をいだく人も多いと思います。今後とも、まちづくりの推進に当たり、連携・交流は欠かせないと考えます。</p>
<p>(2)「道の駅」を山口市と共同でつくってほしい。農産物の販売や文化の発信等、地域の発展に効果があると思います。</p>	<p>コミュニティビジネスなどの活動で収益を得たり、地域を発信し、賑わいを生むまちづくりの在り方について、今後、サロンなどで意見を出し合いたいと考えます。ぜひご参加ください。</p>
<p>(3)「現況と課題」の記述の郷土の歴史文化に関し、「石仏」ではなく「馬頭観音」が分かりやすいのではないか。 (4)鎧塚古墳や如来が岳の方がピンとくるのではないか。</p>	<p>岩野田北から岩野田にかけての地域には、ご指摘の「馬頭観音」のほか、「地藏尊」をはじめ多くの野仏や道標などが見られます。岩野田北には馬頭観音が多く見られます。パンフレットでは、「野仏等」とし、本編では「馬頭観音などの野仏等」と表記することとします。</p>

このほか、地域には名所旧跡が多くあり、ホームページで紹介しています。郷土について知りたいとのご意見も多く、今後、地域の歴史文化に関する講座の開催等について、公民館や知見のある方と連携して計画したいと考えます。

## 9 協働について

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
<p>(1)協働とは、厳しい状況下、行政が市民の力を借りるということでしょう。</p>	<p>住民ニーズの多様化、ライフスタイルの個別化・複雑化が進む中、さらには少子高齢化背景に、行政だけではきめ細かな社会サービスの提供に限界が提起されています。さらには、南海トラフ大地震が想定されるなど、防災面では地域の自主防災が欠かせません。また、地方分権が進む中、魅力ある都市を築くには、地域を良く知り、地域に愛着を持つ住民によるまちづくりが必要です。市民満足度を高め、地域力を向上させるためには、市民相互の協働並びに地域と市の協働が必要です。</p>
<p>(2)地域も含めた岐阜市全体の在り方について、特に若い人たちが岐阜に住もうという視点が重要。小学校、中学校まで教育の無料化、病院代の半額・無料化など。岩野田に教育や病院を整備する。地域からも提案を。</p>	<p>地域のビジョンを達成するためには、地域でできることは地域で主体的に取り組む一方、地域でできないことは市との協働が欠かせません一方、市では、市が行う政策について、パブリックコメント手続きなど、直接的な市民の参画機会が制度化されています。</p> <p>ご指摘のように、地域発展の観点及び市政に提案する住民気運を醸成する趣旨において、また、本ビジョンを推進するために、テーマに応じた市との協議の場や学習機会の確保が、今後必要と考えます。</p>

## 8 子どもを育む地域づくり

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
(1)子育て世代向けの取り組みが欲しい。	地域で子どもを見守り、育てる環境づくりは、重要なテーマと考えます。幼稚園や小・中学校、公民館等の公共施設並びに各種団体等の連携を図るものと、子育て世代のニーズの把握、三世代交流の機会創出など、取り組んでいきたいと考えます。子育てでお忙しいとは思いますが、具体的な活動等について、是非ご意見・ご提案ください。
(2)都会的な魅力がある町を望んでますが、全く生かされていない。 (3)小学生の意見も中学同様、都会的な魅力が最も多い。 (4)子どもたちの願いや夢を一つでも具体化し、子どもが実感できるまちにする。 (5)ファミレスがあると便利。	子どもたちの希望は、具体的には、ショッピングモールや映画館を望むなど、東京都のような都会を期待する傾向が見られます。本ビジョンでは、子どもたちの夢に少しでも近づくため、40万都市における郊外型の都市居住環境の整備(交通安全、鳥羽川の環境整備・空間活用等)について、提起するものです。整備は中長期的な取り組みを要しますが、同時に、日常的にできるあいさつ運動やマナー向上など、一人ひとりが快適な都市空間、生活空間を享受できるよう、まちづくりの輪を広げてまいりましょう。
(6)小中学生だと、都会的な魅力のあるまちにあこがれを持つと思います。これにプラスして、自然と人とのつながりを実現できるとベストです。 (7)娯楽施設に興味深い子どもたちには、豊かな自然にも目を向けてほしい。	ご指摘のとおり、皆様のご協力のもとに、三世代交流や環境学習などの取り組みを推進していきたいと考えます。企画立案から運営までに関わっていただける皆さんの参加をお待ちしています。

## 9 自治会活動について

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
(1)自治会の役員は本人が望まない限り75歳を定年にする。 (2)集合住宅など未加入者の加入促進。 (3)役員が回って来るから自治会に入らない。 (4)役員の仕事内容を書類で分かりやすく示しておくが良い。	自治会の加入率は地域のまちづくりの基本的課題と考えます。 ご提案については、自治会と課題を共有し、市内の他地区や他都市の取り組みも参考に協議・検討に付してまいります。あわせて、まちづくりを通じ、地域に交流・参加・絆を創出していきましょう。

<p>(5)自治会長は女性で良いことを各班に通知しておくこと。  (6)希薄化するコミュニティの再生、自治会の加入率減少は、最重要課題である。</p>	
<p>(7)一戸建て住宅の増加により、地区によってはごみ集積場が満杯状態。分譲業者の責任において、集積場所の確保を考えてほしい。</p>	<p>ゴミ出しに関する集合住宅、戸建て住宅に対する指導について、市に確認中。</p>
<p>(8)市の予算で関市のような鉄柵の集積籠を設置してほしい。</p>	<p>カラスの被害に遭わないよう網をかぶせるケースが多く見られますが、岩野田北地区でも単位自治会において、コンテナ設置をしているケースが増えています。</p>
<p>(9)高齢化が進む中、年 1 回の側溝清掃は申請の有無にかかわらず、市でお願いします。浄化槽からの汚水が垂れ流しで、異臭も発生しています。特に衛生面の改善は、地域として最も大事なことです。</p>	<p>農業用水を兼ねていた側溝をはじめとする施設の清掃は、公共を地域で担う自治会の取り組みの一つです。一方、ご指摘の衛生面に問題がある場合、施設自体の瑕疵、清掃の必要頻度など実態を把握し、対応が必要となります。まずは、当該箇所を自治会に示して、ご相談ください。</p>

## 10 まちづくり協議会について

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
<p>(1)栗野共有林野保護組合のまちづくり協議会への参加を。</p>	<p>多くの皆さんの参加をお願いしてまいります。協議会への皆様のご参加を賜りますよう、よろしく願いいたします。</p>
<p>(2)まちづくりの財源について明示。</p>	<p>まちづくり協議会の財源について、本編の資料編に掲載します。</p>

## 11 その他のご意見・ご提案

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
(1)現在の取り組み全般が、「やること」が目的となっていないか、見直しも必要。	より効果的。効率的な取り組みとなるよう、行事や活動の検証・改善は、主催者において実施される必要があります。もとより、まちづくり協議会の活動についても同様です。具体的にお気づきの点やご提案がございましたら、ご意見をお寄せください。
(2)自然に恵まれ、商業施設等も利用しやすく、住みやすいエリアと思います。是非ともまちづくりビジョンを進めていただき、より住みやすい岩野田北地区を目指していただきたい。	ごみを捨てない、ごみを拾う、あいさつをするなど、まちづくりは一人ひとりの参加で始まります。協働でより良いまちづくりを進め、「みんなで、織りなすまち」を目指しましょう。
(3)コロナ対策として、不安・疑問に答える相談対応を。	専門窓口が、県や市で開設されています。一方、市等で開設されている各種相談窓口や地域の総合案内ができるようなホームページの充実も、今後必要と考えます。
(4)人口減少に対応するためには、地方都市では「コンパクトシティ」が絶対条件となる。	ご指摘のとおり、スプロール化を抑制し、都心居住を促進しインフラ投資を選択集中することが、国や地方都市の趨勢であるかと存じます。一方、郊外部をはじめとする居住エリアの居住性を高め、40万都市としての潜在力を発揮するためには、多様な地域核のネットワーク化を促進し、居住性を高め、都市の魅力を生み出すこともまた、欠かせないまちづくりの視点と考えます。居住している私たち自身が、協働して地域力の向上を図り、居住性を高め、地域の核にふさわしい岩野田北地域にするため、みんなで取り組んでまいりましょう。

## 12 感想

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
(1)コロナに対する万全の対策をとっているのが、パンフレットを通してわかりました。	収束しない現状に危機感を持ちながら、まちづくりを推進・継承していきたいと考えます。
(2)昨年从这个地域に引っ越しました。分からないこともあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。	地域のまちづくりについて、お気付きの点やご提案等、気軽にご意見をお寄せください。
(3)回答が書きにくい意見提案書でした。	皆さんの参加のもとに、まちづくり協議会の運営に努めていきたいと考えます。ぜひ、まちづくり協議会への多くの方の参加を賜りますようお願い申し上げます。
(4)(5)特になし	

## 13 その他の文言整理

寄せられたご意見・ご提案	協議会の考え方・対応
(1)達成目標①のタイトル同様、③「安全・安心な環境づくり」を、安心・安全の順序に統一。	そのように修正します。
(2)達成目標①の④「隣近所での高齢者等への声掛けなど、平常時から自主的な安全確保を身に付けます。」を、「隣近所に住んでいる高齢者や体の不自由な人(特に独居老人)への声掛けなど、普段から自主的な安全確保を身に付けます。」に。	「隣近所の声掛けなど、普段から自主的かつ互助・共助による安全確保の習慣を身に付けます。」に修正します。
(9)鳥羽川改修工事から50年経過とありますが、51水害から44年しか経過していません。	「50年を経過」を「数十年を経過」に修正します。
(3)現況と主な課題の「栗野地区の東西で、土地利用状況等に大きな違いが見られます」の土地利用状況等以下を削除。	「栗野地区の東西で、交通環境や土地利用状況等に違いが見られます」に修正します。
(4)現況と主な課題の「交通安全施設も十分とは言えません。その一方、」の「その一方」を「その上」とする。	そのように修正します。

(5)現況と主な課題の「安全を損なっています。公園も多くなりなく、」の接続詞として「また、」を挿入する。	そのように修正します。
(6)現況と主な課題の「山際の一部住宅地域は、土砂災害警戒区域に指定されています」を、生活環境の悪化と安全の段落の「子どもが戸外で遊ぶ環境には恵まれていません」の後に続ける。	防災面に関する段落に記述する原案のとおりとしますが、接続詞として「なお、山際の…」と修正します。
(7)現況と主な課題の「改修工事が行われ」の後に」句点を挿入。	そのように修正します。
(8)現況と主な課題の文章を、段落ごとに適宜改行すること。	要約版はスペースの関係上、制約がありますが、本編では必要に応じて改行します。

以上、さまざまなご意見・ご提言をいただきありがとうございました。今回、まちづくり協議会として考え方を、それぞれ取りまとめさせていただきましたが、引き続き皆様のご意見をいただきながら、ともに具体的な取り組みを進めてまいりたいと存じます。

つきましては、岩野田北まちづくり協議会の運営・活動やまちづくりサロン等にぜひ多くの皆様のご参加・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年3月1日

岩野田北まちづくり協議会(同自治会連合会)

会長 松久忠弘

【発行年月日】 令和3年3月1日

【編集】 岐阜市岩野田北まちづくり協議会

【ホームページ】 <https://iwanodak-machi.sakura.ne.jp/wp/>